

1 両市の歩みと性格

静岡、清水両市は、有度山をはさんで東西に隣接し、共に温暖な気候に恵まれるなど共通する部分もありますが、両市それぞれの都市としての成り立ちから、その性格について異なる部分もあります。まずは、両市それぞれの歩みと性格を概観してみます。



静岡市の歩みと性格

静岡市は、県のほぼ中央に位置する県庁所在地都市である。奈良時代に国府が置かれ、戦国時代には今川義元の城下町として栄え、江戸時代に入ると徳川家康が入城し、この地で大御所として幕府政治の実権を掌握して采配をふるった。幕府倒壊後は、最後の将軍徳川慶喜が移住するなど、徳川家ゆかりの城下町として発展した都市であり、多くの文人墨客にまつわる旧跡が市内の各所に数多くみられる。

また、古くから東海道の要衝の地として栄え、現在も県都として、静岡県全体の政治、経済、情報、文化、教育などの様々な中枢管理機能が集積し、地方中枢・中核都市として発展を続けており、平成8年4月1日には、堺市、熊本市、岡山市など全国11市とともに、中核市の第1次指定を受けた。周辺の村との10回にわたる合併で市域は広く、南の穏やかな駿河湾から始まり北は長野県及び山梨県境の3,000m級の山々が連なる南アルプスにまで至る。その面積は1,146.19km²で、福島県いわき市(1,231.13km²)に次いで、市としては全国第2位であるが、平たん地は7%にすぎず、大部分は山間地であり、豊かな自然環境に恵まれている。

産業面では、商業・サービス業などの第3次産業が中心となっており商業都市としての性格を有するほか、全国一の茶の集散地でもある。他にも、いちご、わさび、しょうがなどが農業特産品として生産されている。工業では、家具、プラスチックモデル、サンダル、仏壇・仏具、雑具・雑人形など家内工業から発展した長い伝統と技術を誇る地場産業が、いずれも全国的な地位を築いている。

観光資源としては、山間部に南アルプス国立公園、奥大井県立自然公園、梅ヶ島温泉などがあり、都市近郊には日本平、久能山東照宮、登呂遺跡があるなど、市域全体にわたって、多くの史跡や風光明媚な自然景観等に恵まれている。また、近年は、大道芸ワールドカップなど、新たな都市環境の中でのユニークなイベントも数多く行われている。

清水市の歩みと性格

清水市は、駿河湾奥の西側に位置する。南から三保半島が大きく突き出して天然の防波堤となっており、天然の良港として千石船の出入りで賑わう港町として、また、江尻、入江、辻は、東海道の宿町として指定され、地方商業の中心地として発展した。

特に、清水港は1,300年以上にわたる歴史を持つとされており、その萌芽は、斉明6年(660年)に百済救援用の軍船を造ったことに始まるといわれる。現在は国際貿易及び遠洋漁業の基地であり、特定重要港湾として日本を代表する港湾となっており、平成11年には、開港100周年(明治32年、開港場に指定)を迎えた。

産業面では、港湾関連産業の他、貿易港という立地条件のため、工業も盛んで駿河湾臨海工業地帯の中心であり、湾岸には、金属、機械、造船、木材、食料品などの工場が建設されている。農業は、みかん類、茶、いちご、ばら、トマトなどの生産が盛んであり、特に、いちごは、静岡市域にまたがる久能山付近で栽培が盛んで、石垣いちごの名で知られており、観光資源にもなっている。

観光資源は、市南部の海岸沿いに多く、日本平や羽衣伝説で知られる名勝三保の松原などの観光地があり、市街地には、山岡鉄舟や清水次郎長などにゆかりの寺院群、さらには、日本武尊の伝説につながる草薙神社などがある。また、清水市はサッカーのまちとしても全国に知られており、Jリーグの中で唯一の市民球団として設置された清水エスパルスのホームタウンともなっている。そこで、サッカーを通じた個性的な都市づくりを目指し、サッカーフレンドシティの具現化に努めている。

特定重要港湾を擁する国際海洋文化都市であり、清水港と共に発展してきたことが清水市の大きな特徴であり、港を通じた世界的な視野を持つ物流経済の中心地としての性格を備える都市である。

SHIZUOKA

SHIMIZU



2 新市の発展可能性

新市は、静岡空港や第二東名、中部横断道の建設、清水港の整備等により、陸海空の交流の結節点として、首都圏と中京圏の間において重要なポジションを得ることとなります。

政令指定都市の可能性

平成13年8月30日、政府の市町村合併支援本部が、「市町村合併支援プラン」を決定しました。これには、静岡地域を念頭にいた「政令指定都市の指定の弾力化」が盛り込まれており、新市の政令指定都市への移行の可能性は、非常に高いといえます。合併協議会では、新市発足後2年以内を目標に、新市において、政令指定都市への移行を目指していくこととしています。

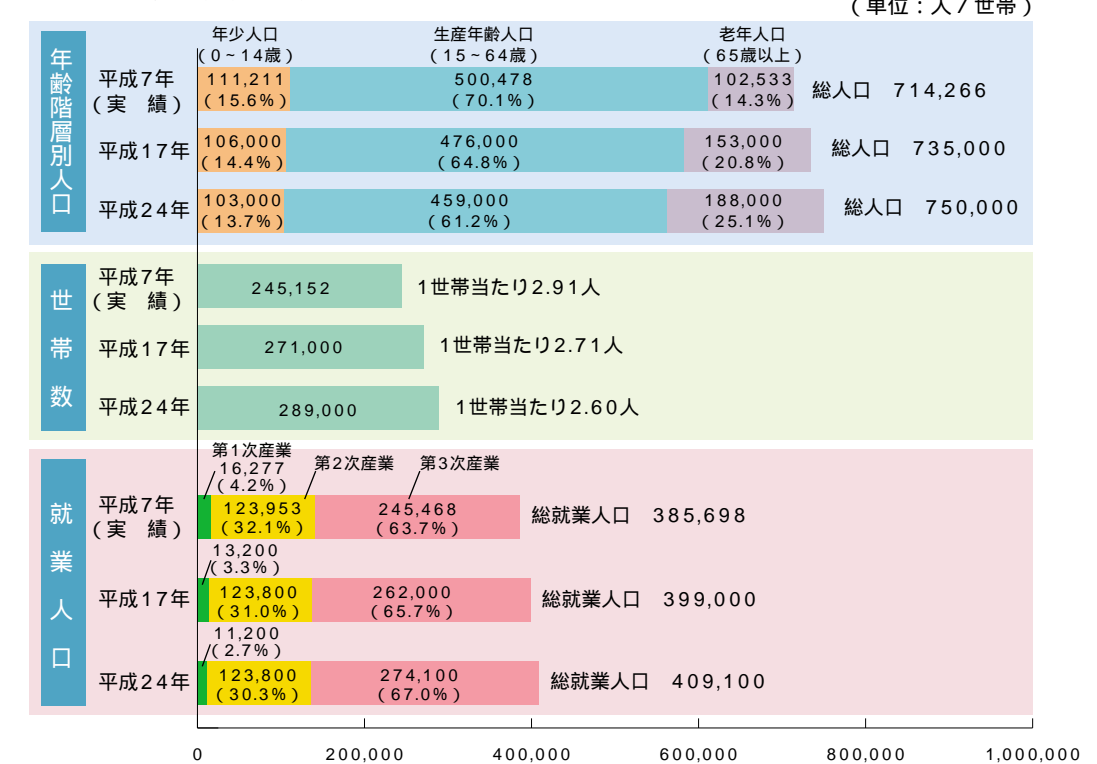
政令指定都市とは、人口50万以上で政令で指定する市のことで、府県とほぼ同じ権能を有する大都市です。現在、札幌市、仙台市、千葉市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の12市が指定されています。この中で、最も新しい政令指定都市は千葉市で、平成4年に人口82万余の時点で指定されています。



面積・位置

| | | | |
|-----|---------------------------------|----------|--|
| 面積 | 1,373.84km ² (国内市最大) | | |
| 広ぼう | 東西約42km | 南北約83km | |
| 極東 | 東経138°33' | 北緯35°09' | |
| 極西 | 東経138°05' | 北緯35°19' | |
| 極南 | 東経138°21' | 北緯34°54' | |
| 極北 | 東経138°14' | 北緯35°39' | |

人口・世帯・就業人口の見通し



新市の現況

